

けいれん … けいれんした時

けいれんの手当とポイント

■ けいれんには様々な種類、原因や症状があります。発症したら必ず医師の診察を受けましょう。

○ 応急手当

- ・ 傷病者の周りに危険な物があれば取り除き、階段や道路など危険のある場所からは遠ざけましょう。
- ・ けいれんが起こったら衣服をゆるめます。嘔吐があれば身体を横に向けて吐かせましょう。
- ・ けいれんしている傷病者の口に手や物を入れてはいけません。噛まれたり詰まったりします。
- ・ けいれん発作後に反応が無ければ気道を確保します。意識のはっきりしない場合は回復体位にしましょう。

歯牙損傷 … 歯が折れたり抜けた時

歯牙損傷の手当とポイント

■ 歯が折れたり抜けてしまっても元に戻せる可能性があります。

○ 応急手当

- ・ 抜けた歯は水で軽くすすぎ、口の中に入れるか牛乳内に保存して歯科医の診察を受けましょう。
(※ 抜けた歯を洗い過ぎると付かなくなります。30秒以内で軽くすすいで下さい。)
- ・ 歯が抜けて出血がある時は綿球やティッシュなどで圧迫して血を止めましょう。

頸椎損傷 … 首の骨（頸椎）のケガ

頸椎損傷の手当とポイント

■ 首の骨(頸椎)の中には脳からの指令を体中に送るための重要な神経が通っています。交通事故やスポーツなどで首を痛めるとその神経まで傷つけてしまう可能性があり、場合によっては身体のどこかがマヒしてしまうため首の安静を図ることが大切です。

(※ 頸椎から尾骨にかけても大切な神経があります、背骨のどこかが痛ければ安静が必要です。)

○ 応急手当

① 次の症状があるかを聞きます。

- ・ 首(背骨)が痛い ・ 手足がしびれる ・ 手足に力が入らない ・ 呼吸が苦しい

★ これらの症状があれば神経を痛めている可能性があります。

② 首から腰までを動かさないようにします。

- ・ 意識があれば頭から腰までを動かさないように伝え、頭を両手で支えます。
- ・ 傷病者が安全な場所にいるのならそのままの姿勢で救急車を待ちます。
危険だという場合に限り、腰から上を曲げず、捻らず、安静にしたままゆっくり移動させます。